

# ブックトーク

2020.12.11

12月11日、中学部で「ブックトーク」を行いました。図書館司書の方から、本の紹介を聞き、その後、自分で興味のある本を選んで、10分程度読書を楽しみました。

図書館司書の方は、国語の教科書にも掲載されているお勧めの話や『もう一度読みたい教科書の泣ける名作』など、中学生にも親しみやすい話や本を紹介してくださいました。

生徒たちは、読書の魅力についていろいろな視点から学ぶことができました。



ブックトークの様子



読書タイム

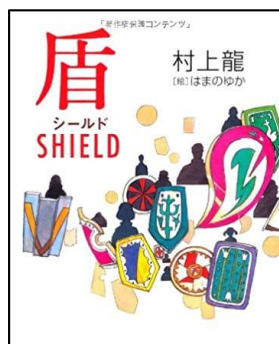


本の紹介：鍛冶屋になりたいと、老職人を訪ねた少年は、老職人から様々なことを学んでゆく。と同時に、老職人は少年の純真な姿に自身の子供時代を重ね、感じたことのない感情を覚えていきます。一回きりの人生をどう生きたいか問われる本です。この本は新刊書です。

図書館司書の五嶋さんです



「生徒の皆さんが、いろいろな本に出会い、いろいろな感銘を受けて、さらに本好きになって欲しいと願っています。」



本の紹介：幼なじみの二人の人生、勝ち組と負け組という言葉がどうでもいい言葉ではないかと思えるような本です。この本は本校の図書室にあります。

ブックトークとは、一定のテーマを立てて一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介する会のことです。